

令和4年度 オーガニックビジネス拡大支援事業

オーガニックプロデューサーの取組について



2023年3月22日

一般社団法人 次代の農と食をつくる会

オーガニックビジネス拡大支援事業の概要

有機農業の産地づくりに取り組む皆様へ

派遣費用
無料

有機農業推進総合対策事業補助金やみどりの食料システム戦略推進交付金を使って、有機農業の産地づくりに取り組む地域に、有機農法により収穫された農産物の販売の戦略について、アドバイス等をする「オーガニックプロデューサー」を派遣します（派遣費用は農水省より補助されるので、各地の皆様の御負担はありません）
先着順になりますので、御希望の方は、お早めに、以下お問い合わせ先へ、御電話下さい！

オーガニックプロデューサーとは？
有機農産物等の販売戦略の提案や助言、農業者と実需者との円滑なマッチングの促進を行う者。



送料が高い！
安く抑えたい！



今の出荷先だけでは
なく、他の出荷
先はないのか？



消費者を巻き込
んだイベントが
やれないか？



全国の有機農業産地に

「オーガニックプロデューサー」

を派遣して、

課題解決を支援しています。

有機農業の拡大に向けて農水省の事業を活用している地区

みどりの食料システム戦略推進交付金事業を活用（54市町村）★

北海道	安平町	兵庫県	豊岡市
青森県	黒石市		丹波市
秋田県	五戸町		丹波篠山市
山形県	大涌村		農丈市
	新庄市	奈良県	淡路市
	米沢市		宇陀市
	川西町	島根県	浜田市
福島県	鶴岡市		大田市
栃木県	二本松市		邑南町
	小山市		吉賀町
	市貝町	広島県	神石高原町
埼玉県	塩谷町	山口県	長門市
千葉県	小川町	徳島県	小松島市
	木更津市	福岡県	うきは市
	佐倉市	長崎県	南島原市
神奈川県	相模原市	熊本県	山都町
新潟県	佐渡市		南阿蘇村
富山県	南砺市	大分県	臼杵市
山梨県	北杜市		佐伯市
長野県	松川町	宮崎県	綾町
	長野市		木城町
岐阜県	白川町		高鍋町
静岡県	掛川市	鹿児島県	南さつま市
愛知県	東郷町		南種子町
	南知多町		湧水町
三重県	尾鷲市		徳之島町
滋賀県	甲賀市		
京都府	亀岡市		

その他協議会等で活動が行われている地域（50地域）（R元～R4）▲



資料：農林水産省作成

産地から寄せられた「プロデューサーからの助言等を得たい内容」（一部）

東北	・学校給食における有機水稻及び有機農産物の活用に向けた課題 ・有機農産物の流通・加工・販売に向けた指導、助言
東北	栽培管理・栽培技術・加工から流通までの流れ
東北	・地域内での有機農産物の付加価値向上 ・マーケットの拡大について等
関東	・有機農産物の栽培技術について ・有機農産物等の販売戦略について ・有機農業と有機農産物について、消費者の理解を深める取り組み 等
関東	地産地消有機農産物の地域内物流の効率化について
関東	・販売、生産 ・里山の生き物評価等
中部	・販路、加工、運送について ・果樹での有機栽培におけるアドバイス
中部	・有機農業に関心の高い働き手の確保の方法 ・生産性を上げるための働き手のモチベーションの高め方
北陸	・直売所に減農薬、無農薬の野菜が出荷されているが、整理されていない。 ・マーケティング、標記等販売面の助言。
中部	・有機農産物の作付け計画からの生産調整手法 ・研修生を含めたチーム作り他
中部	流通の効率化の手法
関西	栽培方法及び出荷先について

関西	ニーズ調査の結果を踏まえた、オーガニック茶の販売戦略の立て方
関西	有機農産物の消費拡大に向けて行政が行えることとはなにか
関西	ニーズの高い栽培作物のマーケティング手法
関西	・共同出荷グループの集出荷及び物流の一元化 ・有機野菜の給食への導入について
関西	有機栽培の技術について のらくら農場の萩原さんを希望します
中国	市場調査、流通、PR等マーケティング全般
四国	販路拡大、給食への無農薬米提供に関する調整事項の解決方法 等
四国	・学校給食の有機農産物導入のアプローチにアドバイスができる方 ・各農家の有機農産物の集積、販売するツールやサポートについて ・農家の経営改善
九州	学校給食への有機農産物導入について
九州	・有機農業者を増やす仕掛けづくり(安定した所得の確保の課題解決) ・地元農産物販売所や学校給食、商工会等地域内での流通及び加工分野 ・住民を巻き込んだ有機農業応援イベントについて
九州	・国産有機アーモンドを活用した加工品等の生産や販売経路の確保 ・その他有機農産物を活用した製品の製造や販路確保について

プロデューサーによる全国サポート実績

山形県	新庄市	ビジョンづくり、地域内合意形成に向けたアドバイス、計画づくりサポート
山形県	川西町	地域内消費と理解増進、給食導入、ビジョンづくり、転換参入促進、商談会サポート
山形県	米沢市	ビジョンづくり、地域内合意形成に向けたアドバイス、広域連携の提案
富山県	南砺市	有機JAS認証のレクチャー、動画発信による生産者ブランディングのレクチャー
山梨県	北杜市	有機生産者グループ立ち上げに向けた意見交換会の企画とファシリテーション他
神奈川県	相模原市	慣行農業からの転換参入を促すための講演会の企画提案および、連携した圃場視察、技術指導
神奈川県	株式会社いかす	神奈川地域における外部環境や内部環境を整理するワークショップの企画とファシリテーション
千葉県	自然と共生する里づくり協議会	栽培レベル向上に向けた、土壌分析結果のレクチャーと活用
千葉県	SOSAオーガニック	いきもの調査(生物多様性指標)導入による地域理解増進

愛知県	東郷町	ビジョンづくり、給食食材納入、地域内出荷拡大に向けた独自認証の導入
愛知県	知多の恵みグループ	チーム経営手法と地域グループによる集出荷効率化のノウハウ
兵庫県	丹波市	栽培レベル向上の技術指導と相談会
兵庫県	養父市	ビジョンづくり、地域内合意形成に向けたアドバイス
奈良県	橿原オーガニック	チーム経営手法と栽培技術についての講演～質問・経営相談会
香川県	さぬきオーガニック	経営レベル向上の実証、給食食材納入に向けたコーディネート
鹿児島県	南種子町	有機米栽培指導と、ビジョンづくり、地域内合意形成に向けたアドバイス、計画づくりサポート



オーガニックプロデューサー支援事例 千葉康伸／白土卓志／間宮俊賢
山梨県北杜市オーガニックビレッジ「意見交換会の企画運営をサポートすることにより新たな有機農業者団体の設立を実現」



北杜市担当者・生産者と繰り返し打合せをおこない、市内農業者の合意形成に向けた意見交換会の実施に伴走。また農水省担当者の講演も企画し、みどり戦略策定の社会的背景と内容・展望についてあらためて共有をおこなった。

オーガニックプロデューサー支援事例 千葉康伸／白土卓志／間宮俊賢
山梨県北杜市オーガニックビレッジ「意見交換会の企画運営をサポート
することにより新たな有機農業者団体の設立を実現」



意見交換会の同日午前中には農水省担当課・関東農政局等による視察も実施され、中心的な生産者の圃場視察とヒアリング、また有機農業産地づくり推進事業を通じて活用が予定されている堆肥センターの視察をおこなった。

オーガニックプロデューサー支援事例 千葉康伸／佐々木一信 さぬきオーガニック「生産技術や商談スキルを指導すること等により、 2022年有機農業の日に合わせて給食に有機食材の納入を実現」

NEWS WEB 新潟 天気 動画 特集・社会 気象・災害 科学・文化 政治 ビジネス 国際

香川 NEWS WEB

丸亀市の学校給食に農薬など不使用の野菜使ったメニュー

12月07日 19時16分



丸亀市の学校給食で、農薬や化学肥料を使わずに栽培した野菜を使ったメニューが出されました。

7日、丸亀市内の公立の小中学校などの給食では、農薬や化学肥料を使わないなどの基準を満たした「有機JAS」の認証を受けた、太根とにんじんを使ったみそ汁が出されました。

野菜は綾川町で栽培されたもので、このうち岡田小学校では児童らが生産者の説明を聞きながら味わっていました。

児童たちは「有機野菜は健康にいいということがわかった。普通の野菜と違って、味がかなり濃かった」などと話していました。

生産農家の矢野耕平さんは「子どもたちが有機野菜を食べる機会をもっと増やして、学校給食に取り入れてもらいたい。有機野菜は味が濃ったり栄養があったりすることを頭で理解してもらって、どういう野菜を選んでいくか、考えてもらえたらいい」と話していました。

出典：
<https://www3.nhk.or.jp/inews/takamatsu/20221207/8030014649.html>



オーガニックプロデューサー支援事例 千葉康伸／佐々木一信

さぬきオーガニック「生産技術や商談スキルを指導すること等により、
2022年有機農業の日に合わせて給食に有機食材の納入を実現」



高知オーガニックの取り組みをモデルに有機農産物の地域消費を目指して活動を展開。千葉康伸が協議会立ち上げ時からサポートをおこない、生産技術や商談スキルについても指導を実施した（オイシックス・ラ・大地株式会社 佐々木一信 氏／令和2年度）。

令和4年度は経営レベル向上の実証や、丸亀市の学校給食への食材納入に向けたコーディネートをおこない、12月の「有機農業の日」にちなんだイベントとして構成員の生産農家の野菜が使用された。

その他のオーガニックプロデューサー支援事例

神奈川県相模原市オーガニックビレッジ

担当プロデューサー：木嶋利男氏（農学博士・伝統農法文化研究所）

農薬化学肥料を減らすための講演会と連携した圃場視察、技術指導を実施。慣行農業者からも大きな反響があり、地域における有機農業への理解増進や、転換参入への関心を促した。次代の会としてこれらの企画を提案、サポートをおこなう。次年度以降も継続的に転換参入を促す技術実証等を検討していく方向性を基礎づけた。



千葉県いすみ市 自然と共生する里づくり連絡協議会

担当プロデューサー：川田肇氏（株式会社川田研究所）

公共調達や地元売り場の拡充を通じた、有機野菜の安定供給と産地化を目指しており、生産基盤の確立のため多角的な技術指導を必要としている。その一環として、生産者に向けた土壌分析の基礎と活用レクチャーを提案し、実施した。



その他のオーガニックプロデューサー支援事例

山形県川西町オーガニックビレッジ

担当プロデューサー：千葉康伸

地域内における理解増進、合意形成に向けた基調講演を提案し、実施。周辺自治体の職員や生産者にも声かけをおこない知見を共有。また置賜エリアとしての横断的な有機推進の取り組みを提言。その後、外部講師（有限会社コートヤード 新田美砂子氏）と連携し、ビジョンづくりのワークショップを実施した。



鹿児島県南種子町オーガニックビレッジ

担当プロデューサー：舘野廣幸氏（NPO法人民間稲作研究所）、千葉康伸

舘野氏による有機米栽培の基礎となるセミナーと、圃場視察、技術指導を実施。また次代の会として事業のビジョンづくり、地域内合意形成に向けたアドバイスをおこなう。次年度以降も継続的に有機米栽培指導を通じて面積拡大を目指す方向性を基礎づける。



YouTubeチャンネルで「オーガニックプロデューサーセミナー」配信中



お気軽にご相談ください



お問い合わせ先：

一般社団法人 次代の農と食をつくる会

事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂3-19-1 東京農村4F

電話：050-5375-8260（平日10-18時） 担当：間宮

info@jidainokai.com / <http://jidainokai.com/>